

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和3年3月2日

公表: 令和4年3月31日

事業所名 田原市児童発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	13	0	・利用児のパーソナルスペースを確保した空間づくりをしています。	
	2	職員の配置数は適切である	13	0		・法令で決められた配置基準を順守して配置します。 ・一人一人の状況に合わせて療育に影響が出ない範囲で動きやすい職場環境を整えていくことに努めます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10	3	・利用児の特性に応じ、手作りの備品を使用しています。 ・構造化・視覚化の工夫をしています。	・利用児に応じた環境を考え、バリアフリー・多目的トイレ等の施設環境を整えることを目指して行きます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	12	1	・療育室は、清潔で心地よい生活空間にするように心掛け、冷暖房により快適に過ごせるようにしています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11	2	・各クラスのリーダーで話し合う時間を確保しています。	・業務の内容を年度ごとに見直し、職員同士が改善について話し合う時間を確保していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12	1		・今年度より開所した事業所であるため、今年度の保護者向け評価表により、保護者等の意向を把握し、改善に努めていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0	13		・今年度より開所した事業所であるため、今年度中にホームページで公開します。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	13		・第三者による外部評価は行っておりません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13	0	・年に数回外部講師による研修や内部の専門職による研修を行い職員の資質向上に努めています。 ・コロナウイルス感染症のため、外部で受ける研修の機会も少なくなっています。	・コロナ禍ではありますが、可能な限り研修を行い職員の資質向上に努めていきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	13	0	・保護者のニーズと子どもの発達状況をすり合わせながら、今現在支援ができるところをじっくり話し合っ決めていきます。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	13	・適応行動に関する標準化されたアセスメントツールは使用していません。	・適応行動に関する標準化されたアセスメントツールの導入を検討しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	12	1	・計画の様式はガイドラインの項目にそった様式を使っています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	13	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	13	0	・各クラスのリーダー及び各クラスの担当者と話し合い立案しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	13	0	・利用児の発達状況に合わせて、プログラムが固定化しないように工夫しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	13	0	・個別スペースを確保し集中できる環境設定と他児とのやりとりや順番を待つなど社会性を養う場面を考えて、支援計画を作成しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	12	1	・朝のカンファレンスやクラスカンファレンスでその日の支援内容や役割分担を確認しています。	・その日の動き方や細かな役割分担を打ち合わせできるように、努めていきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	12	1	・プログラムと提供の仕方や環境設定など一人一人にあっていたか話すようにしています。	・職員間でその日行われた支援を振り返る時間を確保できるように努めていきます。

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム活動は毎日記録に残しており、その反省を元に次の支援へとつなげるようにしています。 ・担当職員が分担して記録をとるようにしています。 ・活動記録については書き忘れの内容に皆で努力しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録を共有し、職員間でその日行われた支援を振り返る時間を確保できるように努めています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	13	0		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には児童発達支援管理責任者が出席しています。 	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・健康課、保育園・こども園、学校教育課、子育て世代包括支援センターとの連携を常に行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在行われている関係諸機関との連携について、職員全員で共有していきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と密に連携を取り、療育内容に取り入れています。 	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・協力医療機関に実際に行ったりして、情報を共有し連絡体制を整えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡体制は整えるように努めているが、より充実するように努めます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・移行先の園に見学に来てもらい、子どもの様子を見てもらった上で情報共有し、過ごしやすい環境を整えてもらうようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ということもあり、今年度は不十分さがみられたため、今後は情報共有や相互理解を図る機会を増やして行きます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	11	2		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との情報共有や支援内容の申し送りができるように、連携を強化していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市の児童発達支援事業所等から職員を派遣してもらい助言や研修等のサポートを年に数回受けています。 	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	13	<ul style="list-style-type: none"> ・現在行っていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が参加しており、職員にも周知しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会のことについては、職員全員で共有していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・登降園時など些細な時間にも保護者と話し合うことで日頃の状況を伝えられています。 ・保護者の方に1日の姿を伝えたり、家庭での様子を聞き取るように心掛けています。 ・その時、今の行動の様子を捉え、どう支援すれば目標に向かうのかを一緒に考えています。 	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	11	<ul style="list-style-type: none"> ・現在十分には行えていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族支援プログラムは来年度以降行うことを予定しています。 	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が丁寧に説明を行っています。 	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	13	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の会話の中から自然に話しが出来るような状況を作るようにしています。なるべく気持ちが楽になるように話しをもっていくように心掛けています。 	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	10	3	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者勉強会は不定期で開催しています。保護者同士の情報交換、児童発達支援管理責任者からの助言などを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナ禍ということもあり、開催回数が少なくなりました。来年度は、保護者同士の交流が今まで以上にできるように考えていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて適宜相談等を行っています。 	

非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	13	0	・毎月あおぞらだよりを発行して保護者に対して発信しています。	・あおぞらだよりの内容を充実させていきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	13	0		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	13	0	・保護者に対しては、送迎時に必ずその日の様子を話しています。また、家庭での様子も聞き取っています。 ・お子さんに対しては視覚的にわかりやすくお伝えしています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	13	・行っておりません。	・今後検討していきます。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	11	2	・毎月利用者と共に様々な状況を想定し、訓練を実施しています。	・防犯マニュアルは作成されていないので作成していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13	0	・建物の構造を考慮し、避難経路を決め、訓練を行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	13	0	・利用申し込み時にアセスメントシートを利用し、看護師を同席し、保護者と詳しく対応方法を確認しています。	・一年に一度保護者の方に確認する機会を設けていきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11	2	・今年度は食物アレルギーのお子さんはいませんでした。	・該当児がいる場合は、給食センターと連携をとり対応していきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12	1	・ヒヤリハット事案が生じた場合職員会議で情報共有しています。	・ヒヤリハット事案が生じた際の記録も回覧し、共有していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12	1	・3月中に職員の研修を実施する予定です。	・次年度は早い時期に実施していきます。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	13	0	・児童発達支援計画に身体拘束に関する事項を記載し、保護者に説明を行っています。 ・身体拘束を行わないように日々対応を考えています。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。